

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

● HondaJet（ホンダ・ジェット）。

2003年12月、実験機が初飛行。

2013年12月、米国連邦航空局（FAA）から
型式検査承認（TIA）を取得。

2015年12月、引き渡しを開始。

HondaJet の先進で革新的な特徴は、

- ・ホンダ1社が、機体とエンジンのすべてを開発し製造する、世界で唯一の航空機。
- ・世界初の主翼の上面に配置したエンジン。

ホンダの創業以来、本田宗一郎の夢は、航空機の機体とエンジンのすべてをホンダで開発することだった。

ボーイング社の航空機用風洞に HondaJet を持ち込んだとき、ボ社技術者は翼上に配置した奇抜なエンジンを嘲笑。ただ実験が進むに連れて瞠目が変わったという。

今、世界で一番売れている、小型ビジネス・ジェットのベストセラー機である。

● Boeing 367-80（愛称は、ダッシュ・エイティ）～今のジェット機の先駆。

B-29、B-36、B-47、B-52など、軍用機で大きく先行していたボーイング社だったが、民間機ではダグラス社、ロッキード社、コンベア社などに大きく水を空けられていた。

売れ先の見込みがないまま、自社資金で開発したのがモデル367。367は本来、軍用機に付けられるコード名だが、本機が先進的な大型ジェット機であることを隠蔽して、ライバル企業を欺くためのコード名であった。

英国のジェット旅客機「デ・ハビランド DH. 106 コメット」はエンジンを主翼内に格納していた。対して367は、当時として先進的な主翼下に、今は多くの航空機で常識なパイロンでジェットエンジンを吊る方式（ボーイング社特許）を採用した。異端なボーイング社が、後年、後発ホンダの異端な上面エンジンを嘲笑した。

367をベースに開発したボーイング707は、パンアメリカン航空ほかを採用した。その後、7X7シリーズ（717、727、737、747、757、767、777、787）へ展開し、ボーイング社は、エアバス社と民間機市場を二分する巨大航空機企業となった。

また367は、空中給油機（KC-135）など多くの軍用派生型機にも採用された。

707を改造した大統領専用機（VC-137）は、ケネディから息子ブッシュまで、現・大統領機747改造機（VC-25）の就航後も、バックアップ機として使われた。



これからの予定 12月2日（木）、10日（金）に定例会を開催します。